

施設及び指定管理者の状況

1 施設

(1) 名称	和歌山県国際交流センター		
(2) 所在地	和歌山市手平2-1-2 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛8階		
(3) 電話番号	074-435-5240		
(4) ホームページ	http://www.wak-kokusai.jp/		
(5) 施設の目的	社会の国際化に即した地域の発展を促進するとともに、県民が国際交流及び国際協力に関する活動を行う拠点とする		
(6) 根拠条例	和歌山県国際交流センター設置及び管理条例		
(7) 所管課室	企画部 企画政策局 国際課		
(8) 施設が提供するサービス(施設・設備)	交流ラウンジ(国際交流に関心のある人の交流の場)、ボランティア・団体サロン(ボランティアや国際交流団体が自由に活動できるスペース)、資料閲覧室、相談カウンター(県民の国際交流と協力に関する相談、外国人の生活相談を受ける場)、サークル室(国際交流活動を行う団体が利用できる貸しスペース)、事務室		
(9) 利用料金制	未導入		
(10) 施設の料金			
	項目	金額	
		円	
		円	
		円	

2 指定管理者

(1) 名称	公益財団法人和歌山県国際交流協会					
(2) 所在地	和歌山市手平2-1-2 和歌山県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9階					
(3) 代表者	理事長 檜畑 直尚			(4) 電話番号	073-423-5717	
(5) 指定管理期間	始期	R4.4.1	終期	R7.3.31	期間	3年
(6) 選定方法	公募 (公募選定の際の応募者数) 1 者					
(7) 職員配置	常勤	2名	非常勤	8名	合計	10名
	有資格者	該当なし名(資格名)				
(8) 指定管理料	令和	5年度	39,229,000円			
	令和	4年度	39,229,000円			
	令和	3年度	39,968,704円			

業務及び利用の状況

1 利用状況(代表的なものを3つ)

(1) 施設の利用状況を示す指標	(2) 左の数値 ※()は前回モニタリング時の数値
ア 利用者数(人)	18,625 (15,599)
イ 外国人生活相談数(人)	884 (935)
ウ	()

2 仕様業務の実施状況

(1) 業務名称	(2) 左の実施状況
センターの維持管理に関する業務	来館者数：18,625人
国際交流等に関する活動を実施・支援する業務	宮前国際音楽祭 参加者数：約100人 本場ドイツのクリスマスと聖歌 参加者数：49人 せかいのぬりえコンテスト 応募数：9作品 子ども対象ナイジェリアのお話し会 参加子ども数：12人 いろいろな国を知ろう事業 参加者数：16組、32人 第4回ゼロエンマーケット in 紀の川市への協力 ボランティア登録者数：161人 ボランティア研修会 参加者数：21人 通訳ボランティア技術向上講座 参加者数：11人 在住外国人と和歌山県国際交流ボランティアとの交流会 「リユースマーケット」の開催 参加者数：56人 移民展・国際理解写真展事業 参加者数：31人 グローバルセミナー 参加者数：362人 回数：7回 学校連携事業 参加者数：141人 回数：3回 英会話カフェ 受講者数：68人 回数：31回 やさしいドイツ語文化理解講座 受講者数：13人 回数：31回
国際交流等に関する情報の収集・発信に関する業務	図書蔵書数：8,062冊 図書貸出サービス登録者数：978人 図書貸出 利用件数：151件 総貸出冊数：427冊 ホームページによる情報発信 閲覧者数：36,209件

在住・滞在外国人支援業務	<p>フェイスブック等SNSでの情報発信 フェイスブックページの「いいね！」数：983件 インスタグラムフォロワー数：324件 外国人相談窓口の運営 相談件数：884件 外国人のための「専門家による一日相談会」 相談件数：12件 外国人のための巡回無料法律相談 相談件数：5件 回数：6回 相談員の資質向上研修等 回数：4回 日本語クラス 延べ受講者数：1,901人 回数：131回 やさしい日本語研修会 受講者数：44人 日本語ボランティア研修会 参加者数：57人 回数：2回 令和5年度和歌山県内における日本語教室空白地域解消事業 御坊市・日高郡エリア 新規開講教室数：3教室</p>
在住外国人等に対する防災対策及び危機管理支援業務	<p>外国人のための防災ワークショップ「Let's Study BOSA1」 参加者数：外国人33人、運営関係者43人 令和5年度緊急消防援助隊近畿ブロック総合訓練」出展 ブース来場者数：300人 和歌山地方気象台活性化講演会 参加者数：15人 災害時避難所巡回訓練及び災害時多言語支援センター 設置運営訓練 参加者数：70人 災害時における外国人支援ネットワーク近畿ブロック研究会 による会議、訓練、協議及び研修 回数：11回</p>
海外移住者及び海外県人会に対する支援及び交流事業の実施業務	<p>メキシコ和歌山県人会受入事業 参加人数：2人 中南米和歌山県人会受入事業 参加人数：2人 ブラジル和歌山県人会と交流会の開催 参加人数：14人</p>

3 自主事業の実施状況

(1) 業務名称	(2) 左の実施状況
国際交流及び国際理解に関する情報の収集と提供	<p>ホームページによる情報発信 閲覧者数：36,209件 フェイスブック等SNSでの情報発信 フェイスブックページの「いいね！」数：983件 インスタグラムフォロワー数：324件 和歌山県国際交流センターニュースの発行 発行部数：各1,500部 回数：3回 図書貸出サービス 対象図書数：8,062冊</p>

	貸出期間：3週間 利用件数：151件 総貸出冊数：427冊 YouTube配信 延べ再生回数：396回 「ふれあい人権WEBフェスタ」に出展 閲覧者数：87回 スピーチコンテスト等におけるWIXAS賞の授与 回数：2回 親子参加型国際交流事業「和の輪」の実施 参加者数：53組123人 回数：3回
国際交流団体との連携	
国際交流ボランティアの育成及びその活動支援	ボランティア研修会 参加者数：21人 通訳ボランティア技術向上講座 参加者数：11人 日本語ボランティア研修会 参加者数：57人 回数：2回
県内に在住又は滞在する外国人に対する支援	外国人相談窓口の運営 相談件数：884件 外国人のための「専門家による一日相談会」 相談件数：12件 外国人のための巡回無料法律相談 相談件数：5件 回数：6回 和歌山県外国人サポートメール(5言語) 配信回数：27回
海外移住者や海外県人会に対する支援及び交流事業	メキシコ和歌山県人会受入事業 参加人数：2人 中南米和歌山県人会受入事業 参加人数：2人 ブラジル和歌山県人会と交流会の開催 参加者数：14人
和歌山県などからの国際交流事業の受託	日中交流奨学事業 参加者数：170人 回数：3回

収支の状況

1 収入

(1) 費目	(2) 金額
基本財産運用益	¥5,969,718
受取会費	¥334,000
事業収益	¥1,149,640
受取補助金等	¥42,321,127
受取負担金	¥132,310
受取寄付金	¥170,000
雑収益	¥163,650
計	¥50,240,445

2 支出

(1) 費目	(2) 金額
①事業費	
給料手当	¥24,480,966
嘱託報酬	¥10,367,416
退職給付費用	¥639,480
福利厚生費	¥1,093,018
旅費交通費	¥1,096,000
通信運搬費	¥817,493
減価償却費	¥257,152
消耗品費	¥2,088,624
修繕費	¥56,100
印刷製本費	¥331,702
燃料費	¥16,892
光熱水料費	¥343,314
賃借料	¥1,381,015
保険料	¥101,498
諸謝金	¥547,500
租税公課	¥1,848,700
共益費	¥5,260,390
支払負担金	¥15,200
委託費	¥139,700

滞在支援費	¥124,000
雑費	¥4,325
②管理費	
役員報酬	¥190,000
給料手当	¥1,948,020
退職給付費用	¥159,870
福利厚生費	¥239,931
旅費交通費	¥134,758
通信運搬費	¥48,203
減価償却費	¥22,361
消耗品費	¥42,911
印刷製本費	¥39,199
光熱水料費	¥41,741
賃借料	¥564,014
保険料	¥109,500
租税公課	¥1,360
支払負担金	¥280,000
共益費	¥863,480
支払手数料	¥177,892
委託費	¥789,800
雑費	¥80,975
計	¥56,744,500

3 収支（収入-支出）

¥-6,504,055

利用者アンケートの状況

1 アンケートの実施期間、方法及び有効回収数

(1) 実施期間	自	令和	5年	6月	1日
	至	令和	6年	3月	31日
(2) 実施方法	センターの様式に記入		(3) 有効回収数	472	

2 アンケート結果

評価する主な意見	左を受けての対応等
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の方々が親切で、気持ちよく施設を利用できている。 ・ボランティア研修会に参加し、ボランティアの意義や価値が解り、活動に対する意識が高まった。 ・海外県人会派遣生をゲストにした国際交流事業にて、ブラジルとパラグアイについてよく知ることができた。 ・在住外国人支援事業にて、日本語クラスの外国人学習者は生活のため忙しい方々が多く、交流する機会が少ないためストレスを溜めている方も少なくない。国際交流センターに来て、日本語教室の先生や他の国の方と交流することで、お互い勉強にもなり、とてもリラックスできている。 ・外国人のための防災講座にて、参加した外国人は地震や津波などを体験したことがない人や、避難場所の確認や防災用品の準備をしていない人が多いが、講座に参加することにより、防災に関心を持つようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者へのサービス向上については、職員内でアンケート結果を共有し、引き続き利用者へのサービス向上の意識を統一させた。 ・さらなる県民の国際化に関する関心や、在住外国人のニーズなどがますます多様化する時代の変化に迅速に対応し、地域住民や外国人住民により親しまれる施設として活用していただくため多様な事業を通して実現できるよう努めていく。
評価しない主な意見	左を受けての対応等
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ後行動制限が緩和され、対面でのイベント開催が可能になった中、ボランティア等を集めて懇親会などを開催してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を受けて、令和6年度期中ではボランティア登録者が活動紹介や情報交換のできる場としてボランティア交流会を実施している。

重要業績評価指標（KPI）の達成状況

1 重要業績評価指標（KPI）

指標	目標値	実績	達成状況
センター利用者数(人)	年間1,000人増加 令和6年度末には20,000人を目指す	3,026人増加	○ (達成)
センター利用者満足度(%)	5段階評価で、普通以上割合が80%以上	5段階評価で、普通以上割合が98.6%	○ (達成)
その他 研修会、講座、交流会等の参加者満足度(%)	5段階評価で、普通以上割合が80%以上	5段階評価で、普通以上割合が98%	○ (達成)

2 目標達成に向けた取組

・利用者数増加に当たっては、新型コロナウイルス感染症の5類移行後、手指の消毒や換気等必要な感染対策を残しつつも、対面実施可能な講座やイベントについては元通りの定員数に戻し実施した。

また、関係機関、団体、ボランティア等と連携し、通年で50人規模にてイベントを再開するとともに、100人規模以上のイベントも複数回実施したことが利用者数増加につながった。

3 目標未達成の場合の改善策等

--